

「思考スキル」は、問題に取り組むことを通じて、みなさんに身につけてほしい力を表したものです。思考スキルは、特定の問題に限らず、さまざまな場面で活用することができる大切な力です。問題につまずいたときには、思考スキルに着目してみましょう。どのような切り口で問題と向き合えばよいのか、どのように考え進めればよいのか…など、手がかりをとらえるのに役立ちます。問題に取り組むとき、活用してみましょう。

## 思考スキル

### ○情報じょうほうを獲得かくとくする

- ・問題文から情報じょうほうや問題かぎの条件じょうけんを正しくとらえる
- ・図やグラフなどから情報を正しくとらえる

### ○再現さいげんする

- ・計算を正しく行う
- ・問題の指示しじ通りの操作そうさを正しく行う

### ○調べる

- ・方針ほうしんを立て、考えられる場合をもれや重複さかなく全て探さがし出す
- ・書き出すことを通じて、法則ほうそくを発見する

### ○順序じゆんじょ立てて筋道すじみちをとらえる

- ・変化する状況じょうきょうを時系列じけいれつで明らかにする
- ・複雑ふくざつな状況を要素ようそごとに順序立てて整理する
- ・前問が後に続く問いの手がかりとなっていることを見ぬく

### ○特徴とくちょう的な部分ぶぶんに注目する

- ・等しい部分に注目する
- ・変化しないものに注目する
- ・際立きわだった部分(計算式の数、素数そすう、約数、平方数、…など)に注目する
- ・和、差や倍数関係に注目する
- ・対称性たいじゆうせいに注目する
- ・規則きそくや周期に注目する

### ○一般化いっぱんかする

- ・具体的な事例から、他の状況にもあてはまるような式みちびを導き出す
- ・具体的な事例から、規則やきまりをとらえて活用する

### ○視点してんを変える

- ・図形を別の視点で見ると見る
- ・立体を平面的にとらえる
- ・多角的な視点で対象をとらえる

### ○特定じようきようの状況かうていを仮定する

- ・「極端きょくたんな場合を想定して考える(もし全て○○なら、もし○○がなければ、…など)
- ・不足おびなを補ったり、余分よぶんを切りはなしたりして全体をとらえる
- ・複数ふくすうのものが移動いどうするとき、特定のものを移動させて状況をとらえる
- ・具体的な数をあてはめて考える
- ・解答かいとうの範囲はんいや大きさの見当をつける

## 思考スキル

### ○知識<sup>ちしき</sup>

- ・情報を手がかりとして、持っている知識<sup>ちしき</sup>を想起する
- ・想起した知識<sup>ちしき</sup>を正しく運用する

### ○理由

- ・筆者の意見や判断<sup>はんだん</sup>の根拠<sup>こんきよ</sup>を示す<sup>しめ</sup>
- ・ある出来事<sup>げんじ</sup>の原因<sup>げんいん</sup>、結果<sup>けいこ</sup>となることを示す<sup>しめ</sup>
- ・現象<sup>げんしょう</sup>の背後<sup>はいご</sup>にあることを明らかにする

### ○置き換え<sup>か</sup>

- ・問いを別の形で言い表す
- ・問題<sup>しやうきやう</sup>の状況を図表などに表す
- ・未知<sup>みち</sup>のものを自分が知っている形で表す
- ・具体的な数<sup>ひ</sup>と比<sup>ひ</sup>を自由に行き来する

### ○比較<sup>ひかく</sup>

- ・多角的な視点<sup>してん</sup>で複数のこと<sup>くら</sup>がらを比べる
- ・複数のこと<sup>くら</sup>がらの共通点<sup>きゆうてん</sup>を見つけ出す
- ・複数のこと<sup>くら</sup>がらの差異<sup>さいい</sup>を明確<sup>めいかく</sup>にする

### ○分類<sup>こ</sup>

- ・個々の要素<sup>こ</sup>によって、特定のまとまりに分ける
- ・共通点<sup>きゆうてん</sup>、相違点<sup>さういてん</sup>に着目<sup>ちやくもく</sup>して、情報を切り分けていく

### ○具体・抽象<sup>ちゆうしやう</sup>

- ・文章から筆者の挙げる例、特定の状況<sup>しんじやう</sup>や心情<sup>しんじやう</sup>を取り出す
- ・ある特徴<sup>とくちやう</sup>を持つもの<sup>しめ</sup>を示す
- ・個々の事例<sup>じ</sup>から具体的な要素<sup>のぞ</sup>を除いて形式化する
- ・個々の事例<sup>じ</sup>から共通する要素<sup>きゆうてん</sup>を取り出してまとめる

### ○関係づけ

- ・情報<sup>じやうほう</sup>どうしを結び付ける
- ・要素間の意味<sup>いみ</sup>を捉え<sup>とら</sup>え、情報<sup>じやうほう</sup>を補<sup>おぎな</sup>う
- ・部分<sup>ぶぶん</sup>と全体<sup>けんたい</sup>のそれぞれが互<sup>たが</sup>いに与えあ<sup>えい</sup>う影響<sup>えいさう</sup>に目を向ける
- ・ある目的<sup>しゆだん</sup>のための手段<sup>しゆだん</sup>となることを見つけ出す

### ○推論<sup>すいろん</sup>

- ・情報<sup>じやうほう</sup>をもとに、論理的<sup>ろんりてき</sup>な帰結<sup>きけつ</sup>を導き出す
- ・情報<sup>じやうほう</sup>をもとに、未来<sup>みらい</sup>・過去<sup>かこ</sup>のことを予測<sup>よそく</sup>する
- ・情報<sup>じやうほう</sup>を活用<sup>かっくわ</sup>して、さらに別の情報<sup>じやうほう</sup>を引き出す

# 小学5年 基礎力テスト(国・算) —— 解答と解説

## 算数 (国語と算数あわせて40分)

**1**

(1)	87822	(2)	12	(3)	37.68
	21		22		23
(4)	0.12	(5)	7.5	(6)	$2\frac{2}{7}$
	24		25		26

**2**

(1)	349000	(2)	114 度	(3)	1.4 kg		
	27		28		29		
(4)	3 ha	(5)	5 cm	(6) ①	12 こ	②	り
	30		31		32		33
(7)	A 5	B 0	C 3	D 1	E 2	F 4	

(完答)34

**3**

(1)	600 m	(2)	400 m	(3)	550 m
	35		36		37

**4**

(1)	32 cm <sup>2</sup>	(2)	42 cm <sup>2</sup>	(3)	36 cm <sup>2</sup>
	38		39		40

# 国語

(国語と算数あわせて四十分)

問八	問六	問四	問二	問一
工	工	③	白	①
54	52	49	46	41
	問七	④	問三	屋根
	異	ア	1	②
	質	50	イ	47
	な	問五	2	客
	ゝ	時	個	③
	さ	間	室	42
	せ	間的	で	置
	る	な	組	④
	(完答)	間	み	43
	53	51	48	44
				松林
				⑤
				45
				運

- (配点)
- 算数
- ① 各2点×6=12点
  - ② (1)~(5)、(6)①各2点×6=12点 (6)②、(7)各3点×2=6点
  - ③ 各3点×3=9点
  - ④ (1)3点 (2)(3)各4点×2=8点
- 国語
- 問一 各2点×5=10点
  - 問四 各3点×2=6点
  - 問二 4点
  - 他 各5点×6=30点
- 計100点

【解説】

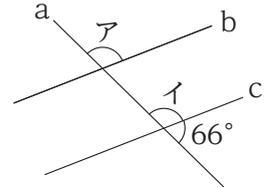
② いろいろな文章題

(1) **A1** 情報を獲得する 知識

上から4けた目は5なので、501は切り上げて、349000

(2) **A1** 情報を獲得する 知識

平行な直線は、ほかの直線と等しい角度で交わるので、  
右の図で、 $\text{ア} = \text{イ} = 180 - 66 = \underline{114}$  (度)



(3) **A1** 情報を獲得する 再現する

$3500 \div 500 = 7$  (倍)  $200 \times 7 = 1400$  (g) = 1.4 (kg)

(4) **A1** 情報を獲得する 知識

求める土地の面積は、1辺が200mの正方形から、1辺が100mの正方形をのぞいた形です。

また、1 haは $100\text{m} \times 100\text{m} = 10000\text{m}^2$ にあたります。

$200 \times 200 = 40000$  (m<sup>2</sup>) = 4 (ha)  $100 \times 100 = 10000$  (m<sup>2</sup>) = 1 (ha)

求める土地の面積は、 $4 - 1 = \underline{3}$  (ha)

(5) **A1** 情報を獲得する 知識

直方体は、たて、横、高さの辺が4本ずつなので、

たて・横・高さ1本ずつの和は、 $88 \div 4 = 22$  (cm) よって高さは、 $22 - (10 + 7) = \underline{5}$  (cm)

(6) **A1** 情報を獲得する 再現する

①  $30 \div 5 = 6$  より、5つの文字が6回くりかえされます。5つの中に「ス」は2こあるので、

$2 \times 6 = \underline{12}$  (こ)

②  $27 \div 5 = 5$  あまり2より、5つの文字が5回くりかえされて、のこり2こ目の文字です。

5つの文字のはじめから2番目なのでリになります。

(7) **A1** 情報を獲得する 再現する

$A+B=A$  より  $B=0$ 、 $C \times D=C$  より  $D=1$ 、 $E \times E=F$  より、 $E=2$ 、 $F=4$

$D+F=A$  より  $A=5$  のこる  $C$  は  $3$

$A=5$ 、 $B=0$ 、 $C=3$ 、 $D=1$ 、 $E=2$ 、 $F=4$

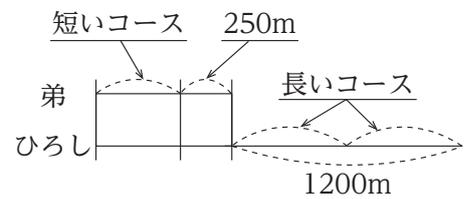
③ 差に注目して解く問題

(1) **A2** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

$1.2\text{km}=1200\text{m}$

ひろしさんは、弟より長いコース2周分長く走りました。

右の線分図より、長いコースは、 $1200 \div 2 = \underline{600\text{ (m)}}$



(2) **A2** 情報を獲得する 再現する

お兄さんが走ったきよりは、長いコース4周分なので  $600 \times 4 = 2400\text{ (m)}$

よって、弟が走ったきよりは、 $2400 - 1750 = 650\text{ (m)}$

弟は短いコース1周と250m走ったので、短いコース1周の長さは、 $650 - 250 = \underline{400\text{ (m)}}$

(3) **A2** 情報を獲得する 再現する

ひろしさんが走ったきよりは、 $650 + 1200 = 1850\text{ (m)}$

よってお兄さんとひろしさんが走ったきよりの差は、 $2400 - 1850 = \underline{550\text{ (m)}}$

4 長方形の面積

- (1) **A2** 特徴的な部分に注目する 置き換え

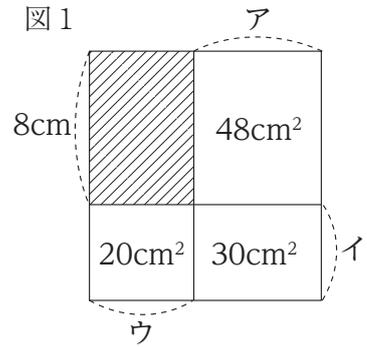
右の図から、

$$ア = 48 \div 8 = 6 \text{ (cm)}$$

$$イ = 30 \div 6 = 5 \text{ (cm)}$$

$$ウ = 20 \div 5 = 4 \text{ (cm)}$$

$$\text{求める面積} = 8 \times 4 = \underline{32 \text{ (cm}^2\text{)}}$$



- (2) **A2** 特徴的な部分に注目する 置き換え

右の図から、

$$ア = 12 \div 4 = 3 \text{ (cm)}$$

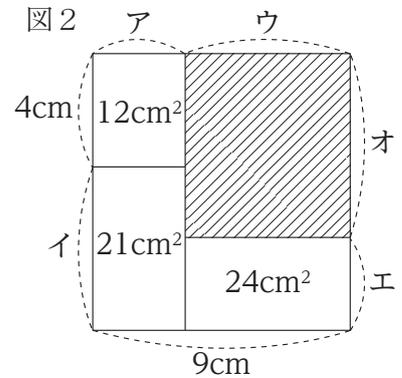
$$イ = 21 \div 3 = 7 \text{ (cm)}$$

$$ウ = 9 - 3 = 6 \text{ (cm)}$$

$$エ = 24 \div 6 = 4 \text{ (cm)}$$

$$オ = 4 + 7 - 4 = 7 \text{ (cm)}$$

$$\text{求める面積} = 7 \times 6 = \underline{42 \text{ (cm}^2\text{)}}$$



- (3) **A2** 特徴的な部分に注目する 置き換え

右の図から、

$$ア = 28 \div 4 = 7 \text{ (cm)}$$

$$イ = 10 \div 5 = 2 \text{ (cm)}$$

$$ウ = 7 - 2 = 5 \text{ (cm)}$$

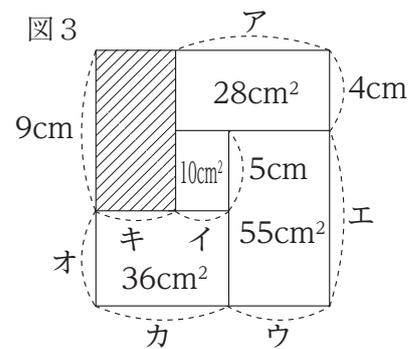
$$エ = 55 \div 5 = 11 \text{ (cm)}$$

$$オ = 11 - 5 = 6 \text{ (cm)}$$

$$カ = 36 \div 6 = 6 \text{ (cm)}$$

$$キ = 6 - 2 = 4 \text{ (cm)}$$

$$\text{求める面積} = 9 \times 4 = \underline{36 \text{ (cm}^2\text{)}}$$



## 【解説】

長谷川権「和の思想―日本人の創造力」(岩波書店)から出題しました。日本人の「間」を「空間的な間」「時間的な間」「心理的な間」に分け、西洋と比較しながら説明しています。そして「間」の働きをまとめ、「和」に欠かせないものとして「間」を論じています。文章の構成をとらえながら、読み進めるとよいでしょう。

## 問一 A2 知識

四年生までの漢字を問う問題です。

## 問二 A2 知識

「何も描かれていない部分」のことを「余白」といいます。「白」には、「白紙」、「空白」などのように、なにもないという意味があります。

## 問三 B1 関係づけ

1 伝統的な日本の家については、三段落と四段落で説明されています。そこには「西洋の家で壁や扉があるべきところに日本の家は障子や襖や戸を立てる。…さまざまな間仕切りの建具で仕切られてはいるものの、いたるところすき間だけである」とあり、その間仕切りを「季節のめぐりとともに」「住人の必要に応じて」動かすことで、「自分たちの家の中の空間を自由自在につないだり切ったりして暮らしてきた」とあります。これと同じ内容を示しているのは、イです。ア「なにかで部屋をしきるといふ考え方がない」の部分が不適切ですし、「プライバシーは全く守られないが、それゆえ住人の仲が深まる」という内容はどこにも書かれていません。ウ「石や煉瓦でできていて重厚感があり」は西洋の家のことです。エ「いたるところすき間だらけ」なので「夏の暑さや冬の寒さ」をしのぐことはできません。

2 西洋の家については二段落に書かれています。「どのような家」と聞かれているのですから「家」となる十一字の言葉を探すと、「個室で組み立てられた家」が見つかります。

※ 書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

## 問四 B1 関係づけ

接続語の問題では前後の文の関係に注目しましょう。③の前では、間仕切りで空間を仕切っていることがかかれ、後では、季節や用途に合わせてその仕切りを動かすという新たな情報が付け加えられていますから、ここには、ウの「しかも」が入ります。④の前で、季節や用途によって仕切りを動かす、とあり、後では「空間を自由自在につないだり切ったり」とあるので、前に書かれたことをまとめていることがわかります。ですから、ここにはアの「このように」が入ります。

## 問五 B1 関係づけ 比較

「間」について、一つ目は日本の家を例に出しながら「空間的な間」の話をしていました。問題になっている二つ目は、⑤と同じ段落にある「何もない時間」の話です。三つ目は八段落目に「空間的、時間的な間のほかにも：心理的な間」とあるように「心理的な間」です。ここから、問題の二つ目は「時間的な間」だとわかります。「まず一つは」「次に」「のほかに」といった、並べるときにつかうつながりなどは注目すると、その文章の構造がつかめ、整理しながら読むことができます。そういった言葉に注目する習慣をつけましょう。

## 問六 B1 理由

直後に「まるで」のように思える」と、その理由が示された文があります。そこには、「一瞬たりとも音のない時間を許すまいとする衝動に駆られている」とあります。「何もない時間」がないことに息苦しさを感ずっているとわかりますから、答えはエです。ア「苦悩」「重苦しいメロデー」、イ「自然の音をかき消すような大きな音」、ウ「交響曲二十五番独特のバイオリンの音」の部分が本文からは読み取れません。

## 問七 B1 関係づけ

⑦の次の段落に、「では間は日本人の生活や文化の中でどのような働きをしているのだろうか」と、問いかけの文があり、その直後に「そのもつとも重要な働きは異質なもの同士の対立をやわらげ、調和させ、共存させること」とあります。

※ 書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

## 問八

## B1 関係づけ

ふさわしくないものを選びます。選択肢の内容を一つ一つ確かめていきましよう。ア二段落に「西洋の個人主義はこのような個室で組み立てられた家に住んできたからこそ生まれた」とあります。イ七段落に「それにひきかえ日本古来の音曲は…音の絶え間というものがいたるところにあつて長閑」とあります。ウ八段落に「心理的な間があつてはじめて日々の暮らしを円滑にハコぶことが出来る」とあります。エ本文では、日本人の「間」について三つの観点から書かれています。それを「うまくつかい」「くすべき」などのように、実生活におとしこむよう勧めるような内容は書かれていません。ですから、答えはエです。